

平成24年 2月24日

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議

中部地方幹線道路協議会

道路管理防災・震災対策検討分科会

## 道の駅、高速 SA・PA の防災機能を強化 ～中部の「道の駅」18カ所、新東名 SA・PA7カ所で整備～

中部地方幹線道路協議会「道路管理防災・震災対策検討分科会」では、大規模災害に備え、被害の最小化を図る方策について検討を進めてきましたが、この度、具体的な施策をとりまとめましたので紹介します。

中部管内にある「道の駅」のうち18カ所において、災害時における救急支援活動を支える一時避難場所や活動拠点として、道路管理者と地方自治体が連携し、非常用電源の確保や防災用トイレの設置など防災機能の充実を図ります。

また、4月に開通予定の新東名高速道路では、SA・PA7カ所において、防災ヘリ等が活用可能なヘリポートや自家発電設備を設置し、防災機能を確保します。

※この施策は、中部圏地震防災基本戦略の取り組みに該当します。

### 【中部地方幹線道路協議会「道路管理防災・震災対策検討分科会」の構成組織】

長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市、名古屋市、  
愛知県道路公社、名古屋高速道路公社、中日本高速道路(株)、関東地方整備局、  
中部地方整備局

#### 1. 資料 添付資料

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ  
岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、  
静岡県政記者クラブ、長野県庁会見場

#### 3. 問い合わせ先

中部地方整備局道路部 道路管理課長 松田 正尚

TEL:(052)953-8176 FAX:(052)953-9208

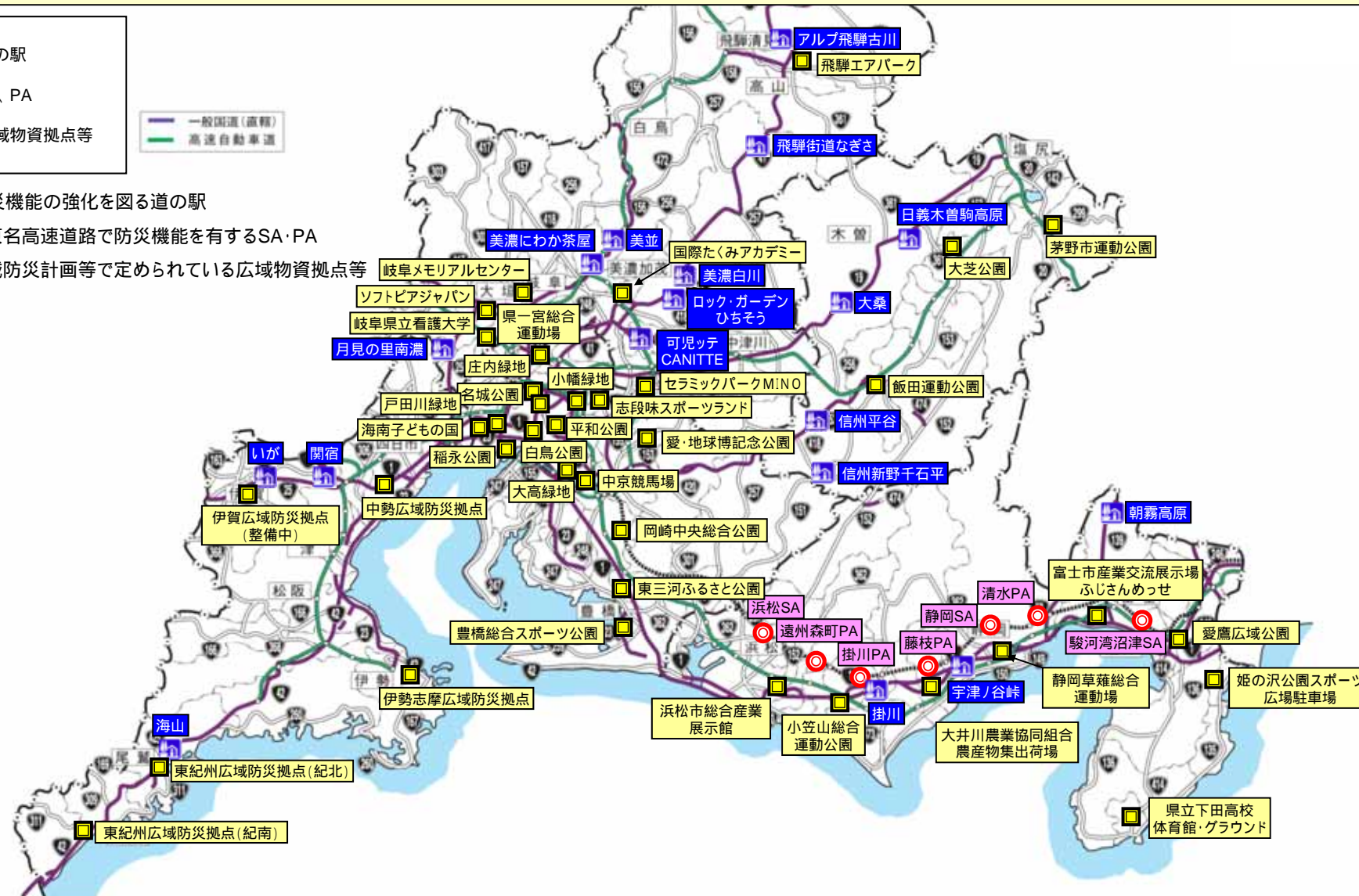
# 被災時の支援体制 ~「道の駅」、SA・PAの防災機能の強化~

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議  
中部地方幹線道路協議会

被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、地域防災計画等で位置付けられた広域物資拠点等に加え、「道の駅」、高速道路のSA・PA等における防災機能の強化を図る。

■ 道の駅  
● SA、PA  
■ 広域物資拠点等

- 1 防災機能の強化を図る道の駅
- 2 新東名高速道路で防災機能を有するSA・PA
- 3 地域防災計画等で定められている広域物資拠点等



# 被災時の支援体制 ~ 「道の駅」の防災機能の強化 ~

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議  
中部地方幹線道路協議会

道路管理者と地方自治体が連携し、災害発生時に道路利用者の一時避難場所として、非常用電源の確保や情報提供装置の整備、防災備蓄倉庫や防災用トイレの設置等、防災機能の充実を図る。

## 防災機能・役割

災害時の避難場所としてスペースの提供  
災害時・非常時でのトイレの提供 (断水時に使用可)  
地域の防災拠点としての非常食・飲料水・非常電源の確保  
道路の規制情報や被災情報等の提供 等

## 道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備

### 道路管理者

防災用トイレの整備  
情報提供装置の整備  
非常用電源の確保

### 地方自治体

地域防災計画への位置付け  
非常用電源の確保  
飲料水・食料等の備蓄

## 【東日本大震災での活用事例】

自衛隊の復旧支援活動の拠点として機能する道の駅「津山」



### 東日本大震災における「道の駅」利用の具体例

道の駅名	所在地	路線名	対応の例
三本木	高知県大湖市	4号	- 自家発電により24時間開館し、おにぎり、菓子等を提供。情報館にて避難者を受け入れ。
津山	宮城県登米市	45号	- 自衛隊やレスキュー隊の前進基地。支援隊員への飲み出しの実施。南三陸町のホテル等が避難。
ふくしま 富田	福島県二本松市	249号	- おにぎり等食料、トイレ、給水サービスを提供。避難住民1500人を受け入れ。
喜多の塚	福島県喜多方市	112号	- 給水サービス、食事販売、日帰り温泉施設を被災住民に無料開放。
明増馬	福島県南相馬市	8号	- 避難所として開放。災害応援の拠点として機能。
ひらた	福島県平田村	49号	- 避難住民に無料で電源、水を提供。村内の病院や避難所に食料を供給。

## 防災機能整備事例 道の駅「美濃にわか茶屋」(岐阜県)

### 非常用電源装置



### 防災備蓄倉庫



### 飲料水貯水槽



### 情報提供装置 屋外



### 屋内



### 防災用トイレ



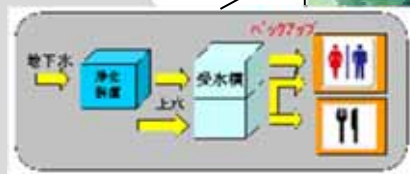
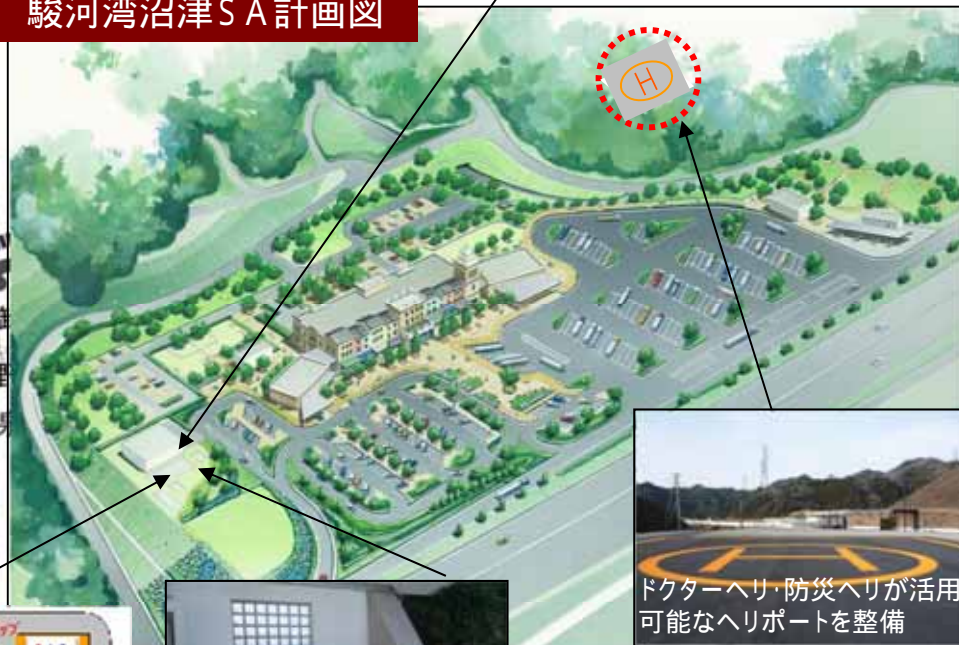
【凡例】 :道路管理者 :自治体

### 新東名高速道路(御殿場JCT～三ヶ日JCT)における防災機能

- 現東名と新東名を結ぶ連絡路を静岡市・浜松市に整備、既存の自動車専用道路(東駿河湾環状道路、西富士道路)を含め、通行止め時の代替利用が可能となり、信頼性が向上
- 全休憩施設にヘリポート・自家発電設備を設置し、災害時における救急支援及びお手洗い機能を確保
- 事故や災害等が発生した場合の緊急活動を速やかに実施するための緊急開口部を設置(新東名本線 一般道)
- 災害発生時における水道断水の回避を目的とした地下水利用設備を整備(駿河湾沼津SA)



駿河湾沼津SA計画図



駿河湾沼津SAに地下水利用設備を整備

